

活動レポート

北方海域技術研究委員会

文責：北方海域技術研究委員会幹事 橋本孝治

平成 27 年度の活動報告

1. はじめに

北方海域技術研究委員会では、平成 27 年度に 4 回の講演会と 7 回の幹事会を開催し、北海道周辺海域の持続的な開発・利用を目標に、海域を取り巻く諸問題について調査・議論を行ってきました。

以下に活動の概要を記載します。

2. 平成 27 年度 総会・特別講演会

◆総会の概要

総会は、山口幹事を議長として選出し、「議案 1：平成 26 年度 事業・収支状況報告」、「議案 2：平成 27 年度 役員変更」、「議案 3：平成 27 年度 活動方針・事業計画・予算案」について議案別に討議され、すべての議案について承認されました。

また、本総会において役員変更があり、表-2 に示す新役員が選出され、若林新代表による新たな体制が発足しました。

◆特別講演会の概要

特別講演会では、講演 1「私たちの暮らしと地球温暖化～ IPCC AR5 から～」と講演 2「漁港法の変遷について～将来展開を考える参考に～」の 2 件について講演をいただきました。

表-2 平成 27 年度役員一覧(敬称略)

代 表	若林 隆司	新任
副代表	飯田 誠	新任
	大橋 正臣	新任
幹事長	橋本 孝治	留任
幹 事	北原 繁志	新任
	斉藤 二郎	留任
	山内 繁樹	留任
	吉田 徹	留任
	山口 幹人	留任
	河合 孝治	留任
	北川 紀洋	留任
	土井 善和	新任

◆講演 1「私たちの暮らしと地球温暖化 ～ IPCC AR5 から～」

(地独)北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター 環境保全部 地球・大気環境グループ主査、芥川智子氏をお招きし、IPCC リポートコミュニケーター・プロジェクトにて作成された 2015 年 3 月 16 日版の資料に基づき、地球温暖化の影響や解決のための選択肢について、VTR を交えながら分かり易くお話し頂きました。

◆講演 2「漁港法の変遷について～将来展開を考える参考に～」

北海道開発局 農業水産部 水産課長、浅川典敬氏をお招きし、「漁港法の背景と制定について」、「地方分権と漁港法について」、「近年のトピックスについて」の 3 つの視点から、氏がこれまでに関わってきた法改正のお話しを加えながら、楽しくお話し頂きました。

表-1 講演会等の開催状況

H27.5.29	平成 27 年度 総会・特別講演会 会 場：北海道開発協会 6F 会議室 参加者：技術士会員 20 名、非会員 33 名
H27.8.28	平成 27 年度 講演会 会 場：かでの 2・7 1030 会議室 参加者：技術士会員 18 名、非会員 23 名
H27.10.1	平成 27 年度 定例会 会 場：北海道立総合研究機構 栽培水産試験場 会議室 参加者：技術士会員 12 名、非会員 21 名
H27.12.4	平成 27 年度 技術研究発表会 会 場：寒地土木研究所 1 階講堂 参加者：技術士会員 23 名、非会員 34 名

3. 平成 27 年度 講演会

◆講演会の概要

講演会では、講演 1「コンクリートができること」と講演 2「近年の北海道近海の家象の特徴 ―異常家象と防災―」の 2 件について講演頂きました。

◆講演 1「コンクリートができること」

(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 環境研究部 建築技術グループ主査、谷口円氏を講師としてお招きし、コンクリートの歴史からお話し頂き、現在のコンクリートの性能さらには自然調和を目指した今後のコンクリートの可能性について、ご講演頂きました。

◆講演 2「近年の北海道近海の家象の特徴

―異常家象と防災―」

北海道大学工学研究院 環境フィールド工学部門水圏環境工学分野准教授、渡部靖憲氏を講師としてお招きし、近年多発する北海道における低気圧被害を対象として、高潮・高波の変化傾向、被害増大をもたらすメカニズム、今後の防災対策について、お話し頂きました。

4. 平成 27 年度 定例会

◆定例会の概要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構、北海道開発局室蘭開発建設部の後援を得て、講演 3 件のほか、追直漁港 M ランドの現地視察を開催致しました。

◆講演 1「近年の高水温化が北海道の水産資源に与える影響」

(地独)北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部 管理増殖グループ研究主任、城幹昌氏を講師としてお招きし、北海道周辺海域の海水温の変化と水産資源量との関係について、特にスケトウダラ、ホッケ、ブリを例に挙げながら、貴重な観測結果を交えて、ご講演頂きました。

◆講演 2「室蘭地域マリンビジョン

～取り組みと改訂について～」

室蘭開発建設部 室蘭港湾事務所所長、森信幸氏を講師としてお招きし、地域マリンビジョンの策定当初の狙いから改訂の背景についてご説明頂き、さらに地域振興に向けた今後のマリンビジョン(取り組み)のあり方について、ご講演頂きました。

◆講演 3「水産業の海外展開に向けて」

室蘭工業大学地域共同研究開発センター准教授、片石温美氏を講師としてお招きし、「海外(香港)を対象とした北海道産水産物の輸出拡大戦略に関する研究」についてご紹介頂き、北海道水産物輸出の課題や今後の展開に向けて、ご講演頂きました。

5. 平成 27 年度 技術研究発表会

◆技術研究発表会の概要

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所との共催にて、講演 4 件を頂き開催致しました。

◆講演 1「オホーツク海における海岸道路の盛土被害の発生条件と対策の検討」

寒地土木研究所寒地水圏研究グループ寒冷沿岸域チーム研究員、本間大輔氏を講師としてお招きし、オホーツク海に面した海岸道路の盛土被害を対象に波浪による初期の盛土被害をもたらす発生条件とその対策に関する研究について、ご講演頂きました。

◆講演 2「寒冷海域における沿岸施設の保護育成機能の解明に関する研究」

寒地土木研究所寒地水圏研究グループ水産土木チーム主任研究員、佐藤仁氏を講師としてお招きし、沿岸構造物が有する水産生物の保護・育成・餌料環境等の機能強化を図るために必要な技術や課題、診断手法について、お話し頂きました。

◆講演 3「防波堤を越流する津波に対するブロックの安定性と滑動抵抗力の検討」

株式会社不動テトラ総合技術研究所水理研究室研究員、三井順氏を講師としてお招きし、津波越流に対する防波堤被覆ブロックの安定性について、被害発生メカニズムから所要質量算定までの研究について、ご講演頂きました。

◆講演 4「北海道の水素社会の形成に向けて」

北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室主査、島田裕進氏を講師としてお招きし、水素社会形成に向けた北海道の取り組みとして、エネファームや FCV の導入促進の現状、地域特性を活かした水素利活用の展開等について、お話し頂きました。

6. おわりに

平成 28 年度も計 4 回の講演会開催を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。